

基本目標2 健康寿命の延伸に向けた健康づくりの推進

(1) 運動習慣の確立と実践

No.	事業名	事業内容	担当課	開始年度	現状	課題	今後	担当課評価
新規1	高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業	<p>兵庫県後期高齢者医療広域連合より当該事業を受託し、高齢者が住み慣れた地域で安心して生涯を通じた健康の保持増進を図るため、保険課、地域福祉課、高齢介護課、健康課及び関係団体との連携のもと、高齢者に対する一体的な支援を開始した。</p> <p>【実施内容】</p> <p>(1) 市内連携 (2) 関係機関との連携体制構築 (3) 高齢者への個別支援</p> <p>① ハイリスクアプローチ 生活習慣病等が重症化するリスクの高い未治療者に対して、医療機関への受診勧奨や、かかりつけ医と連携した保健指導を行った。</p> <p>② ポピュレーションアプローチ 医療専門職が通いの場等に出向き、フレイル予防に関する健康教育や健康相談を実施した。支援が必要な高齢者に対して、健診や医療の受診勧奨や地域包括支援センターへの相談等の必要な支援を行った。</p>	保険課 地域福祉課 高齢介護課 健康課	令和3年度	<p>(1) 市内連携 推進連絡会3回、担当者打合せ7回開催。</p> <p>(2) 関係機関との連携体制構築 連携先：芦屋市医師会、芦屋市歯科医師会、各高齢者生活支援センター、県後期高齢者医療広域連合、医療関係団体等との連携を行った。</p> <p>(3) 高齢者への個別支援</p> <p>① ハイリスクアプローチ ・対象者 79人 ・保健指導実施 76人 ・保健指導実施率 96.2%</p> <p>② ポピュレーションアプローチ ・訪問実績 訪問した通いの場 5箇所、訪問回数 18回 ・参加者実績 実人数 96人、延べ人数 217人</p>	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、ハイリスクアプローチにおいては医療機関の受診控えや訪問を拒否される等の対象者が多く支援介入に困難が生じたが、電話や手紙、面接を活用することで指導を実施できた。また、ポピュレーションアプローチにおいては本来の通いの場の活動が制限されているなかでの実施となったため、本来の活動を優先したいという声があり、専門職の訪問時間や回数の調整を行った。	ハイリスクアプローチでは今後も様々な方法で保健指導を実施していく。ポピュレーションアプローチでは、より多くの高齢者の健康意識を高めフレイルリスク低減を図れるよう、今後は通いの場に受け入れられやすい訪問回数の検討や、健康無関心層を対象にした取組を実施していく。	B

基本目標3 主体的な健康管理の推進

(1) 生活習慣病予防等の対策と健康寿命延伸の取り組み

No.	事業名	事業内容	担当課	開始年度	現状	課題	今後	担当課評価
新規2	がん患者アピアランスサポート事業	<p>薬物療法・放射線療法による脱毛や手術療法による乳房切除など、がん治療による外見変貌を補完する補正具の購入費用の助成金を支給。助成対象補正具：医療用ウィッグ（上限5万円）、乳房補正具（補正下着は上限1万円、人工乳房は上限5万円）</p>	健康課	令和3年度	<p>申請数9人（医療用ウィッグ9件、乳房補正具1件）</p>	令和3年10月から事業開始したため、さらなる周知が必要。	保健センターだよりに掲載するなど、さらなる周知を行う。	B